

6 小テストの作成

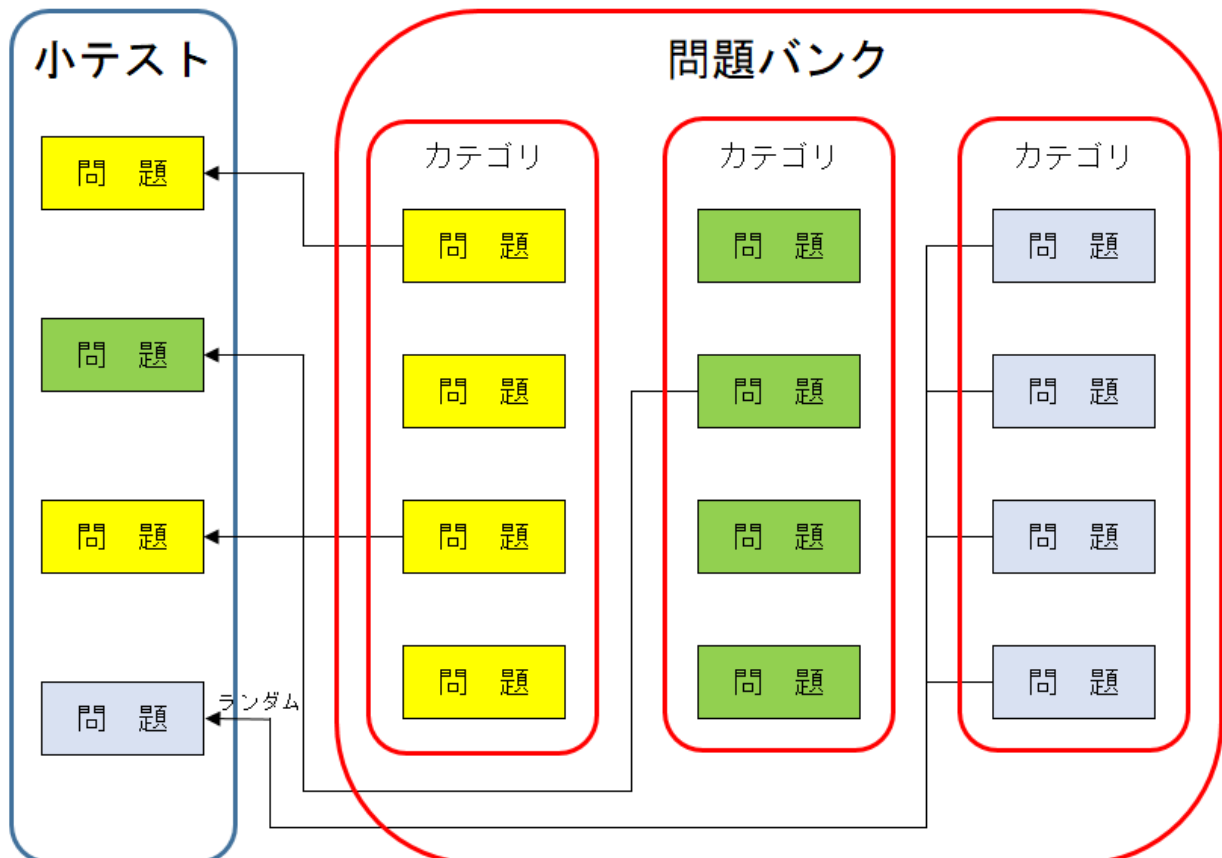
【O/×問題】や【記述問題】など様々な形式の問題を作成し、小テストを実施することができます。小テストの実施に当たっては、受験日時、制限時間等を個別に設定することができます。

また、小テストを作成するに当たっては、直接テストを作成する他、【問題バンク】機能を使用して、あらかじめ作りためた問題から出題することも可能です。

1 小テストの仕組み

小テストは問題の集合です。問題の作成には、①直接小テストを作成する、②あらかじめ問題バンクに問題を作りためておき、これを編集する、の方法があります。①の方法で作成しても自動的に問題バンクに蓄積されるため、後で別の小テストで再利用する場合でも作り直す必要はありません。

問題バンク内はカテゴリごとに分類することができ、カテゴリ内の問題をランダム出題する小テストを作ることができます。



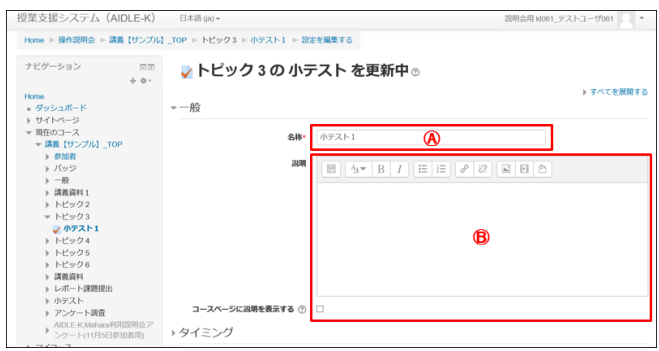



2 小テスト作成の流れ

小テストは以下の手順で作成します。個別の手順は次ページ以降を参照ください。

<p>1</p>	<p>小テストの名称、実施期間等を設定する。</p>																					
<p>2</p>	<p>問題バンクのカテゴリを作成する。</p> <p>※ 小テストを直接作成する場合でも、作成した問題は自動的に問題バンクに蓄積されます。このため、カテゴリを作成しておく、後で分類する際に区分しやすくなります。</p>																					
<p>3</p>	<p>問題を作成する。</p>																					
<p>4</p>	<p>(問題バンクに問題を作成した場合) 小テストに問題を追加する。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>問題</th> <th>作成数</th> <th>名/日付</th> <th>最終更新</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計算問題</td> <td>0</td> <td>説明会用 M001_テストユーザー 001</td> <td>2019年 10月 25日 16:33</td> </tr> <tr> <td>ドラッグ&ドロップ</td> <td>0</td> <td>説明会用 M001_テストユーザー 001</td> <td>2019年 10月 25日 17:24</td> </tr> <tr> <td>作文問題</td> <td>0</td> <td>説明会用 M001_テストユーザー 001</td> <td>2019年 10月 25日 16:51</td> </tr> <tr> <td>日本史01</td> <td>0</td> <td>説明会用 M001_テストユーザー 001</td> <td>2019年 10月 25日 15:36</td> </tr> </tbody> </table>	問題	作成数	名/日付	最終更新	計算問題	0	説明会用 M001_テストユーザー 001	2019年 10月 25日 16:33	ドラッグ&ドロップ	0	説明会用 M001_テストユーザー 001	2019年 10月 25日 17:24	作文問題	0	説明会用 M001_テストユーザー 001	2019年 10月 25日 16:51	日本史01	0	説明会用 M001_テストユーザー 001	2019年 10月 25日 15:36
問題	作成数	名/日付	最終更新																			
計算問題	0	説明会用 M001_テストユーザー 001	2019年 10月 25日 16:33																			
ドラッグ&ドロップ	0	説明会用 M001_テストユーザー 001	2019年 10月 25日 17:24																			
作文問題	0	説明会用 M001_テストユーザー 001	2019年 10月 25日 16:51																			
日本史01	0	説明会用 M001_テストユーザー 001	2019年 10月 25日 15:36																			

3 小テストの作成手順 (①小テストの設定)

<p>1</p>	<p>編集するコースを選択し、【編集モード】に切り替える。</p>	
<p>2</p>	<p>【活動またはリソースを追加する】から【小テスト】を選択する。</p>	
<p>3</p>	<p>小テストの名称、実施期間等を設定する。 「*」は必須項目です。 【課題名(A)】: 課題の名称を入力する。 【説明(B)】: 課題内容についての説明を入力できます。(チェックで表示・非表示を選択) また、課題設定時に「4 各種設定をする①」を別途設定することで、詳細設定を行うことができます。</p>	
<p>4</p>	<p>設定完了</p>	

4 各種設定をする①

小テストの各種設定ができます。

1 タイミング

小テスト受験時の受験期間・受験時間制限を設定します。

▼タイミング

Ⓐ	小テスト公開日時 ?	27	12月	2019	11	49	<input type="checkbox"/> Yes
Ⓑ	小テスト終了日時 ?	27	12月	2019	11	49	<input type="checkbox"/> Yes
Ⓒ	制限時間 ?	0	分	<input type="checkbox"/> Yes			
Ⓓ	制限時間を経過した場合 ?	受験は制限時間内に送信される必要がありますがそうでない場合はカウントされません					▼
Ⓔ	送信猶予期間 ?	0	分	<input type="checkbox"/> Yes			

Ⓐ～Ⓒは、「Yes」をチェックすることで設定できます。実施期間を設定しない場合はチェック不要

- Ⓐ 小テスト公開日時：ここで設定した日時以降、小テストが実施できます。
- Ⓑ 小テスト終了時刻：ここで設定した日時以降、小テストの実施ができなくなります。
- Ⓒ 制限時間：小テストの制限時間です。
- Ⓓ 制限時間を経過した場合：Ⓒで設定した制限時間を超過した場合、小テストは自動的に提出されますが、制限時間経過時に学生がログアウトしている場合、この設定で処理をコントロールします。
 - ① 受験中の小テストを自動的に送信する。
 - ② Ⓔで定める猶予時間中は小テストを送信することができるが、新たに問題に解答はできない。
 - ③ 制限時間内に提出されない小テストの送信をカウントしない。
- Ⓔ 送信猶予期間：Ⓓ②を設定した場合に、制限時間後に小テストを送信できる猶予時間です。

2 評点

評定時の得点、再受験を設定します。

▼評点

Ⓐ	評定カテゴリ ?	カテゴリなし ▼
Ⓑ	合格点 ?	0.00
Ⓒ	受験可能回数	無制限 ▼
Ⓓ	評定方法 ?	最高評点 ▼

- Ⓐ 評定カテゴリ：設定できません。
- Ⓑ 合格点：小テストに合格するために必要な点数です。合格点に達している場合は緑色、達していない場合は赤色で表示されます。
- Ⓒ 受験可能回数：この小テストを繰り返し受験できる回数です。1回～10回、無制限から設定します。
- Ⓓ 評定方法：複数回の受験が許可されている場合の学生の最終評点です。最高評点、平均評点、最初の受験、最新の受験から選択できます。

3 レイアウト

受験時の試験レイアウトを設定します。

▼レイアウト

①	新しいページ ?	問題1問ごと	▼	<input type="checkbox"/> 今から改ページ調整する
②	ナビゲーションメソッド ?	フリー	▼	

- ① 新しいページ：問題作成時に自動で改ページが挿入される問題数です。後から問題編集ページで手動で変更することができます。
- ② ナビゲーションメソッド：設定することで、受験時に問題に順番に回答させるようにできます。前のページに戻ったり先の問題にジャンプすることができなくなります。

4 問題の挙動

受験時の問題レイアウトを設定します。

▼問題の挙動

①	問題内部をシャッフルする ?	Yes	▼
②	問題動作 ?	遅延フィードバック	▼
③	受験内でのやり直しを許可する ?	No	▼
④	直近の解答内容を反映させる ?	No	▼

- ① 問題内部をシャッフルする：受験ごとに問題の選択肢がシャッフルされます。
- ② 問題動作：それぞれの問題で答えを入力した後、評定またはフィードバックの前に小テストすべてを送信してもらいたい場合は「遅延フィードバック」モードを使用します。
- 学生に即時フィードバックを与えて、すぐに正解できない場合に評定の低い次の受験に挑戦させたい場合は「複数受験インタラクティブ」モードを使用します。
- ③ 受験内でのやり直しを許可する：この設定を有効にした場合、学生が特定の問題の受験を終了した時点で「問題をやり直す」ボタンが表示されます。これにより小テストの受験すべてを送信せずに、また別の小テストを開始せずに別バージョンの同一問題を受験できるようになります。このオプションは主に練習問題に有用です。
- この設定は学生が受験を送信する前に問題を終了できるような問題（例えば「作文問題」は該当しません）と挙動（例えば「即時フィードバック」または「複数受験インタラクティブ」が該当します）にのみ影響します。
- ④ 直近の回答内容を反映させる：複数回受験を設定している場合、ここを「Yes」に設定することで次の受験時に前回解答が反映されます。同小テストで新たな問題を出題したい場合は「No」に設定してください。

5 レビューオプション

小テスト終了後に表示される情報を設定します。

受験中	① 受験後すぐに	後で、小テスト実施中	小テスト終了後
<input checked="" type="checkbox"/> 受験	<input checked="" type="checkbox"/> ① 受験	<input checked="" type="checkbox"/> 受験	<input checked="" type="checkbox"/> 受験
<input type="checkbox"/> 答えの正誤	<input checked="" type="checkbox"/> ② 答えの正誤	<input checked="" type="checkbox"/> 答えの正誤	<input checked="" type="checkbox"/> 答えの正誤
<input type="checkbox"/> 得点	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 得点	<input checked="" type="checkbox"/> 得点	<input checked="" type="checkbox"/> 得点
<input type="checkbox"/> 特定フィードバック	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 特定フィードバック	<input checked="" type="checkbox"/> 特定フィードバック	<input checked="" type="checkbox"/> 特定フィードバック
<input type="checkbox"/> 全般に対するフィードバック	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 全般に対するフィードバック	<input checked="" type="checkbox"/> 全般に対するフィードバック	<input checked="" type="checkbox"/> 全般に対するフィードバック
<input type="checkbox"/> 正解	<input checked="" type="checkbox"/> ⑥ 正解	<input checked="" type="checkbox"/> 正解	<input checked="" type="checkbox"/> 正解
<input type="checkbox"/> 全体フィードバック	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦ 全体フィードバック	<input checked="" type="checkbox"/> 全体フィードバック	<input checked="" type="checkbox"/> 全体フィードバック

- ① 小テスト受験結果を表示するタイミングです。（「受験中」は原則使用しません。）
- ② 小テスト受験結果の表示を選択します。それぞれの番号は以下のとおり反映されます。
- ① 受験：学生が全ての受験結果をレビューできるか。（設定しないと表示を行いません。）
 - ② 答えの正誤：当該問題における正解・不正解
 - ③ 得点：当該問題で獲得した点数
 - ④ 特定フィードバック：解答に対するフィードバック
 - ⑤ 全般に対するフィードバック：問題に対するフィードバック
 - ⑥ 正解：当該問題における正解・不正解（フィードバック欄に表示）
 - ⑦ 全体フィードバック：使用しません。
- ※ ④、⑤は問題作成時に入力しない場合、設定しても表示されません。

6 アピアランス

小テストの得点表示を設定します。

▼アピアランス	
① ユーザ画像を表示する	イメージなし
② 評点の小数位	2
③ 問題評点の小数位	全体の評点と同じ
④ 小テスト受験中にブロックを表示する	No

- ① ユーザ画像を表示する：使用しません。
- ② 評点の少数位：評点を表示または評定する際、小数点以下何位まで表示するか設定します。
- ③ 問題評点の少数位：個々の問題の評点を表示または評定する際、小数点以下何位まで表示するか設定します。
- ④ 小テスト受験中にブロックを表示する：小テスト受験中にブロック表示を行います。

7 受験に対する特別制限

その他の受験に当たっての制限事項を設定します。

- ① パスワードを要求する：小テストを受験する際、パスワードを入力するよう設定できます。
- ② ネットワークアドレスを要求する：IP アドレスを入力することで、小テストのアクセスを制限することができます。
- ③ 最初と2回目の受験の強制待ち時間：小テストの1回目の受験後、やり直したい場合の待ち時間を設定できます。受験可能回数が2回以上の場合のみ設定できます。
- ④ 2回目以降の受験の強制待ち時間：2回目以降に同じ問題をやり直したい場合の待ち時間を設定できます。受験可能回数が3回以上の場合のみ設定できます。
- ⑤ ブラウザセキュリティ：JavaScript セキュリティ対策を含むフルスクリーンポップアップを選択した場合、以下のとおり設定されます。
- ・ 学生が JavaScript の利用を有効にしているブラウザのみ小テスト受験を開始することができます。
 - ・ 小テストはフルスクリーンのポップアップウィンドウ上に表示されナビゲーションコントロールはありません。
 - ・ 可能な範囲でコピー&ペーストのような機能を学生が使用できないようにします。


8 全体フィードバック

小テストを受験した学生全員に対して、また、特定の評点ごとにフィードバックを設定できます。




- ① フィードバック：該当学生へのフィードバック
- ② ここからフィードバックを追加すると、評点別にフィードバックを設定できるようになります。

5 小テストの作成手順 (②問題を設定する)

(1) 小テストを直接作成する場合 (自動的に問題バンクに登録されます。)

<p>1</p> <p>小テストを作成したいコンテンツを選択し、小テストの編集画面に移動する。</p> <p>※ 作成した小テストをプレビューで確認した後は「小テストを編集する」ボタンが使用できなくなります。</p>	 
<p>2</p> <p>【追加】→【新しい問題】を選択し、問題を編集する。</p> <p>《備考》</p> <p>Ⓐ 改ページ調整：1ページ当たりの問題数を設定できます。</p> <p>Ⓑ シャッフル：受験時に出題する問題がシャッフルされます。</p>	

(2) 問題バンクに登録する場合（登録後、小テストへの問題追加作業を行います。）

<p>1</p>	<p>問題を登録したいコンテンツを選択し、管理メニューから【問題バンク】→【カテゴリ】を選択する。</p>	
<p>2</p>	<p>問題を登録するカテゴリを作成する。 「*」は必須項目です。 【親カテゴリ(A)】: カテゴリが属する親カテゴリを指定する。 【名称(B)】: カテゴリの名称を設定する。 【カテゴリ情報(C)】: カテゴリについての説明を入力する。</p>	
<p>3</p>	<p>管理メニューから【問題バンク】→【問題】を選択し、問題を登録したいカテゴリを選択する。 登録する【問題カテゴリ】、【新しい問題を作成する】を選択し、問題を編集する。</p>	

6 問題を登録する

所定の形式を使用して問題を作成します。

<p>1</p> <p>5-(1)-2, 5-(2)-3を選択すると、問題の形式が表示されるので、使用する形式を選択する。</p>	
---	--

《備考》説明文を表示させる

小テストの問題とは別に、テストの要約や問題の説明を表示させるために、文章を表示させることができます。

<p>1</p> <p>問題形式の選択時に【説明】を選択する。</p>	
-------------------------------------	--

<p>2</p> <p>説明内容を入力して設定する。 「*」は必須項目です。 【カテゴリ(A)】: 説明が登録されるカテゴリを選択する。 【問題名(B)】: 問題名称を入力する。 【問題テキスト(C)】: 問題の内容について入力できます。(チェックで表示・非表示を選択) 【全体のフィードバック(D)】: 試験終了後の全体へのフィードバックを入力できます。</p>	
--	--

7 主な問題の種類

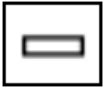
様々な形式の問題を作成することができます。一部抜粋して紹介します。

1 ○/×問題



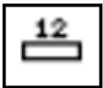
説明に対して「○(マル)」「×(バツ)」を選択する2択形式の問題です。

2 記述問題



単語やフレーズを回答させる問題です。複数の正解がある場合でも、それぞれの答えに対して100%から「なし」までの異なる評点を与えることができます。

3 数値問題



数値を回答させる問題です。正解として特定の数値以外に一定範囲の数値を許すことができます。

4 多肢選択問題



複数の選択肢から正解を選択する問題です。

さらに、解答が1つの場合の「単一回答問題」と「複数回答問題」に分かれます。

5 穴埋め問題

(Cloze)



テキスト内に多肢選択問題、記述問題、数値問題を挿入することができる問題形式です。

6 作文問題



作文問題の答えを書き込みます。自動的に採点することはできません。

7 組み合わせ問題



質問のリストと答えのリストの関係を一致させる問題形式です。

8 ドラッグ&ドロップ

(マーカー)



図の中の該当する位置を回答させる問題形式です。

9 ミッシングワード





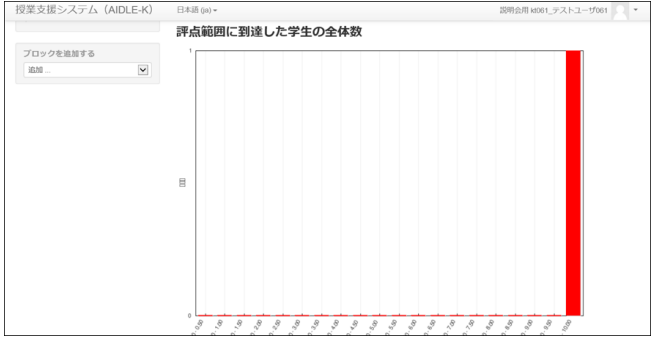
選択



ドロップダウンメニューを使って問題テキスト内のミッシングワードを埋める問題形式です。

8 受験状況, 受験結果の確認

小テストの受験状況及び受験結果の確認・ダウンロードを行うことができます。

<p>1</p>	<p>小テストを選択し, 【受験件数】を選択する。</p>	 
<p>2</p>	<p>受験者とその評点一覧を確認する。 (評定条件を変更できます。) 受験状況の確認・受験結果のダウンロードを行う。 ※ 各種設定等により, データのダウンロード等ができます。</p>	  

9 各種設定をする

1 評価設定

▼レポートに含む内容

(A) 受験者

(B) 受験状況 進行中 期限切れ 終了 未送信
 ユーザごとに最大1件の終了した受験を表示する (最高評点)

(C) 受験のみ表示する 再評価された/再評価が必要だとマークされた受験のみ

▼表示オプション

(D) ページサイズ

(E) それぞれの問題の評点

(F)

- (A)(B) 受験者、受験状況：レポートに表示する対象者を選択します。
- (C) 受験のみ表示する：解答変更等により再評価した受験のみ表示します。
- (D) ページサイズ：1ページに表示される件数を設定します。
- (E) それぞれの問題の評点：問題ごとの評点を表示するか設定します。
- (F) 再評価
- ・すべてを再評価する：全ての受験者の再評価を行います。
 - ・完全な再評価を予定練習する。：再評価を行う前にテストを行います。

2 全体フィードバック

(A) テーブルデータをダウンロードする:

姓/名	メールアドレス	状態	開始日時	受験完了	所要時間	評点/10.00	Q.1 /4.29	Q.2 /1.43	Q.3 /1.43	Q.4 /1.43	Q.5 /1.43
(B) <input type="checkbox"/>	説明会 用 kt001_ テスト ユーザ 001 受験を レ ビュー する	終了	2020 年01 月7 日 10:00	2020 年01 月7 日 10:02	1分 6秒	10.00	✓ 4.29	✓ 1.43	✓ 1.43	✓ 1.43	✓ 1.43
全平均						10.00 (1)	4.29 (1)	1.43 (1)	1.43 (1)	1.43 (1)	1.43 (1)

(C)

- (A) テーブルデータをダウンロードする：希望の形式で評価データをダウンロードできます。
- (B) 個人毎の評価結果が表示されます。
- (C) 選択した受験者の再評価／受験の削除ができます。

10 作文問題を評定する

作文問題は自動的に評定されませんので、出題者が個別に評定する必要があります。
 評定すると他の回答とあわせて受験結果が表示されるようになります。

<p>1</p>	<p>小テストを選択し、【受験件数】を選択する。</p>	 
<p>2</p>	<p>手動評定を選択する。</p>	
<p>3</p>	<p>評定を選択する。</p>	

評価を行う。

Ⓐ 解答に対するコメントを返すことができます。

4 Ⓑ 評点を入力します。(配点の範囲内で入力できます。)

Ⓒ 次の受験者の評価に移動します。(最後受験者の評価の場合は2に戻ります。)



評価完了

5 ※ 手動評価を完了すると、受験結果に評価が反映され、総合評価及び各種分析結果が表示されます。

